

冒険心が飛翔する“100人の戯空間”

ウイング フィールド

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-27 周防町ウイングス6F

TEL(06)6211-8427 FAX(06)6211-6312

ウイングフィールド公式サイト URL <http://www.wing-f.co.jp>

作・演出／横田 稜士

「ボーイズトーク。」

1/6(土) 2:00

7:00

出演／Continues

7(日) 1:00

6:00

料金／前売 1,500 円 当日 2,000 円

学生 1,500 円 (前売・当日共／要学生証)

WINGCUP

作・演出／泉宗良

「うさぎ」

13(土) 7:00

14(日) 1:00

出演／うさぎの喘ぎ

5:00

料金／前売 1,200 円 当日 1,500 円

WINGCUP

作・演出／洪一平

「しずむ、」

19(金) 7:30

20(土) 2:30

6:00

出演／Cocoon

21(日) 1:00

5:00

料金／一般予約 1,500 円 一般当日 2,000 円

学生予約 1,000 円 学生当日 1,500 円

WINGCUP

ウイングフィールド提携公演

作・演出／繁澤邦明

「search and destroy」

26(金) 7:00

27(土) 11:00

3:00

7:00

出演／うんなま

28(日) 1:00

5:00

料金／一般前売 2,800 円 一般当日 3,300 円

25 歳未満 2,000 円

高校生以下 1,000 円 (要証明書) 他券種あり

旅劇

ウイングフィールド提携公演

作・演出／田中遊

「戲式 VOL.8」

30(火) 7:30

出演／正直者の会

料金／一般 2,000 円 (前売・当日共)

22 歳以下 1,500 円

乗劇

取るに足りない。

福本 年雄

謹賀新年。新しい年が皆様に平和で実り豊かでありますように心よりお祈り申し上げます。

毎年当欄に新春のご挨拶を書きながら、いつもお世話になっている方達を思い浮かべて、どんな様も平安に過ごされるよう願う。この気持ちが年々深まる。交わる事が出来ている方々のお陰で私が居られることに感謝するからだ。と書いたら何やら覚者みたいだが、実は不覚者もいいところ。陋屋の破れ畳にガムテープを貼りながら「門松は冥土の旅の一里塚馬かごもなくとまりやもなし」(一休禅師)と独り言。この先何年生きるか知れぬが、新年がめでたいなんて刷り込みや、正月だろろうが誕生日だろろうが無常迅速なのだと感じる。

じゃあ死ぬか?いやいや、まだ遊び足りないと思える有様である。

今夏65歳になって「高齢者」の仲間入りをするし、独り身だしで、先日来エンディングノートを書き始めた。自分史や資産と負債、葬儀、息子殿に残す分等々……死ぬのも段取りありかとまたボヤク。若い、病み、死ぬのもなかなかやっかいでアリマス。

そんなこんなめんどくさい浮世を忘れる為に精々プライベート時間を増やして陋屋で音楽やDVD三昧し、あとは気ままにコンサート、文楽、美術館巡りを楽しんでやろう。

さて、ウイングフィールド (WF) としては、若手を育てる企画を若いスタッフに委ね、次世代の演劇人を刺激してみたい。創り手も制作者も互いに励んでこそ新しいコトも生まれるはず、いつ迄も爺が出しゃばるばかりではあるまいて。私を必要とされたり、自分で試みる企画はやるが、原点の実験室、野戦病院、ニッチに戻りさらにWFを活かすべく後衛にまわる。

最近ごく若い演劇人の公演に接して改めて私はなぜ小屋をしているのか?そしてWFとは何か?と考えてしまった。私が20代から30代にかけて、生まれ育ったこの場所で駐車場、そして相続税対策でビルを建て、ミナミの商人風に吹かれてきた。相続を巡る争執や、バブルも味わった。その挙句、色々あって小屋者になった。なぜか?元来が強気でなく権力、因習、拜金(お金は好きだが)になじめず、ついて行けなかった。幸い?貸ビルというハコ物商売だったから勢い余って小屋にした。

勿論、中島陸郎氏、西原明牧師という偉大な師匠に教えられたお陰だ。もうひとつは、街づくり活動で知り合ったご近所の経営者、企業人に学生演劇経験者が3人おられ、社会人としてのマナーから演劇活動と商いの葛藤を話して頂いたご縁もあった。これらの方々から学んだのは「生きてゆくこと」。

にも関わらず私は25年間を他者に頼り酒に頼り、今は演劇以外のアートに依存して小屋を続ける不甲斐ない者である。

そして WFとは、創り手と観客が時空を共にする時のみ存在する場の名前。ここを WFという小屋として共有してくれる人々だけの為に在る。あとは単に黒い箱。蟹気楼のようなものだ。2時間の作品なら2時間だけ在る場。

せめて上演作品が観客の皆様の心に何かを刻み込んで、良い時を過ごしたと感じて頂けたらそれが全てだ。そうあるようにと私は祈ってここに居る。何も出来ず何もせず取るに足りない私である。

(ウイングフィールド・代表)

